

2015愛知最賃闘争ニュース

愛知県労働組合総連合

No.1 0123 電話 052-871-5433

1.21最低賃金 賃金問題学習会



1月21日(水)、最低賃金生活体験のスタート集会を労働会館で開催し、33名が参加。15最賃闘争がいよいよはじまりました。

5万筆の署名は審議会を震撼させた

毎年とりくんでいる最低賃金生活体験ですが、今年は1時間800円で1日8時間、一ヵ月22日換算(14万800円)の生活を体験します。

集会では、冒頭に吉良愛労連事務局長から情勢と行動提起が報告された後、埼玉県労働組合連合会の穴戸出事務局長から「埼玉における最賃闘争の実践」について話を聞きました。埼玉では、11万人

埼玉県労連 穴戸出事務局長

の組織で全国一の署名数5万5887筆を昨年集めました。穴戸さんは、最賃の対象である労働者の要求運動にするため、「10分でも宣伝に参加を」と声をかけていることや地域組織に協力を得て集めた求人チラシを元に募集時給調査をおこなっていることなどを紹介。「5万の署名は審議会を震撼さ

せ、目安に2円の上積みさせた。今年は10万筆に向けがんばる」と決意を述べられました。

愛労連も5万筆を目標に掲げています。2月から体験生活と署名集約がスタートです。

◆最賃生活体験チャレンジャー募集中！
お問い合わせは、愛労連事務局まで

1ヵ月14万800円の生活開始

今年は挫折しないようがんばる!

自治労連の青年など50人超が体験チャレンジ

体験チャレンジャーからの発言では、生協労連は「最賃が上がるとそのまま賃上げに」、地域労組きずなは「昨年の5500筆を超える6000筆の署名を目標」と決意。名古屋市職労の青年は「前は挫折したが、最賃が上がれば公務員の初任給も上がる。今年はがんばる」と力強く発言しました。

